教育ながの

―長野県教育委員会メールマガジン―

第596号
平成24年7月20日

1. ひろば
「同僚性」と「ＯＪＴ」
義務教育課長　笠原　千俊

2. 特集
「スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定」について
スポーツ課
「学ぶちから・学校力専門委員会」の提言について
教育総務課

3. 今、学校では
本と親しむ　本と共に過ごす時間を楽しむ
～日常に位置付いた図書室利用をめざして～
長野県松本養護学校

4. ご存知ですか？
障害のある児童・生徒の就学相談について
特別支援教育課

5. イベント情報・お知らせ

6. あとがき

ひろば

「同僚性」と「ＯＪＴ」

義務教育課長　笠原千俊

今年のはじめ、先輩の先生方と話している折、教員の指導力を高めることが話題になった。その時、私の隣にいたＹさんが、「今年は、『同僚性』と『ＯＪＴ』ということばが広まるのではないでしょうか。」と言った。「ＯＪＴ？　それは何の略だい。」と問われて、Ｙさんが「Ｏｎ　Ｔｈｅ　Ｊｏｂ　Ｔｒａｉｎｉｎｇ．教員同士の学校内での研修・学び合いのことです。」と答えると、先輩の先生方は、ひとしきり、かつて校内の教科会や学年会、研究委員会などで、先輩・同僚と学び合ったことを話題にして楽しげに言葉を重ねられた。

そして半年。６月２６日号の『内外教育』に、教育ジャーナリストの斉藤剛史氏が、「教員の資質向上は『同僚性』から」の中で、全日本中学校長会の「人材育成の状況と課題に関する調査」（２０１１）結果を紹介している。

この調査は、各都道府県から公立中学校を６校ずつ抽出し、計２８２校中２８０校から回答を得てまとめたもので、斉藤氏は校長への次の質問について取り上げている。

質問は、「あなた自身の教員としての資質向上にあたり、有効であったのはどのような機会でしたか。２つ選んでください。」であり、この質問への回答（複数選択）は、次のようであった。

◇先輩教員や同年配の同僚からの助言
　１５３校（５４．６％）
◇文部科学省・教育委員会の研修会
　１２６校（４５．０％）
◇校内の研修会や研究会
　１２５校（４４．６％）
◇諸学会や民間教育研究所等での研修会や研究　６５校（２３．２％）
◇管理職からの指導・助言
　４７校（１６．８％）
◇その他
　１２校（４．３％）

では、私はどうであったかというと、選択肢にいくつも○が付きそうだが、１つと言われれば、やはり「先輩教員や同年配の同僚からの助言」を選ぶ。何といっても、初任校に始まる教科会での授業づくりの研修であり、そこでは、学校ごとの特色ある研究テーマのもと、先輩・同僚からの助言を得て確かに学ぶことができたと思う。

付け足しになるが、斉藤氏の「教員の資質向上は『同僚性』から」の中では、回答の「その他」について触れていなかったので、「その他」の１２校の回答を知りたいと思い、調査の集計冊子を借りて見てみると、１２校のほぼ半数は「ＯＪＴとしての授業研究」「自己研修」等であった。はじめにＹさんの言葉を紹介したが、全国の校長先生方も同じ思いでおられるということが分かった。「同僚性」と「ＯＪＴ」を流行りで終わらせず、広め定着させることを大事にしたいと思う。

目次へ
戻る

特集

「スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定」について

スポーツ課

県内において、野球、サッカー、バスケットボールで地域密着型のプロスポーツ活動を展開する４社と長野県等は、スポーツ振興や青少年の健全育成、その他地域の活性化等に資する取組の連携を強化し、スポーツを通じて長野県全体に元気を創出していくことを目的として、包括的な連携協定を締結しました。

◆７者による協定締結へ

信濃グランセローズ、松本山雅、長野パルセイロ、そして信州ブレイブウォリアーズ。メルマガご愛読者の中には、熱烈なファン（サポーター、ブースター）の方もいらっしゃるかもしれませんが、いずれも県内に本拠地を置き、プロリーグで又はプロリーグ入りを目指して活動している、野球、サッカー、バスケットボールのチームです。

長野県では、この４チームに加え、長野県体育協会及び長野県障がい者スポーツ協会にも参加を呼び掛け、スポーツを通じて長野県全体に元気を創出していくための包括連携協定を、去る７月５日（木）に締結しました。（協定書はこちら）

締結された協定書（クリックするとリンクが開きます）。

◆連携事項の例

連携協定第２条においては、

◇スポーツ振興に関すること
◇青少年の健全育成に関すること
◇県民の健康の増進に関すること
◇観光振興に関すること
◇その他地域の活性化に関すること

の５項目を連携事項として掲げています。

具体的には、県主催のスポーツイベントへの協力、県が実施する各種普及啓発事業への選手の起用（ポスター、街頭啓発活動等）、公式戦（ホーム・アウェイ）等の来場者に対する観光・物産ＰＲ、プロチーム主催のスポーツ教室を広報等の面で支援、等の取組を想定していますが、当事者間でお互いに知恵を絞って、様々な連携の可能性を探っていきたいと考えています。

７者が協力して長野県全体に元気を創出していきます！

◆信州スポーツサミット２０１２の参加者募集

また、協定に基づく連携事業として、以下のとおり「信州スポーツサミット２０１２」を開催しますので、大勢の方のご参加をお待ちしています。

お申込み、お問い合わせは、県庁スポーツ課（電話０２６・２３５・７４４７）または、信濃毎日新聞社事業部（電話０２６・２３６・３３９９）までお願いします。

日時	８月５日（日）１３時～（開場１２時３０分）
場所	ホテルメトロポリタン長野
記念講演	夢があるから強くなる ～地域に根ざしたＪリーグの歩み～ 川淵三郎氏 （（公財）日本サッカー協会最高顧問）
パネルディスカッション	
テーマ	「地域に愛され、地域とともに成長するプロスポーツの未来」
コーディネーター	大竹弘和氏（神奈川大学人間科学部教授）
パネラー（予定）	阿部守一氏（長野県知事） 三沢今朝治氏（㈱長野県民球団代表取締役社長） 大月弘士氏（㈱松本山雅代表取締役社長） 小池睦雄氏（㈱長野パルセイロ・ＡＣ代表取締役社長） 片貝雅彦氏（㈱信州スポーツスピリット代表取締役社長）

■お問い合わせ
スポーツ課　管理係
Tel：026-235-7447
Fax：026-235-7476
e-mail：
sports-ka@pref.nagano.lg.jp

目次へ
戻る

特集

「学ぶちから・学校力専門委員会」の提言について

教育総務課

長野県教育委員会では現在、平成２５年度～２９年度の５年間の教育行政の方向を示す第２次長野県教育振興基本計画を策定しています。この計画の検討の中で、重要な課題である子どもたちの「確かな学力」の育成とそれを支える「学校力」の充実について重点的に検討してきたのが、教育の専門家等の有識者から成る「学ぶちから・学校力専門委員会」です。このほど専門委員会から提言をいただきましたので、今回は提言のポイントを紹介します。

◆提言のポイントはズバリ？

◇今回の提言では教育行政が重視すべき４つの基本的な方針が示されるとともに、「長野県教育スタンダード」の設定が提案されました。４つの方針は以下のとおりです。

・教育の機会と質の保証
・確かな学力の保障
・多様な能力を伸ばす教育と学び合う環境づくり
・学校力を高めるための支援

◆なぜ今「教育の機会と質の保証」なの？

◇少子化の進行に伴う児童・生徒数の減少により、今後学校教育の活力が維持しにくくなると見込まれる上、厳しい経済・雇用情勢の中で、経済的状況等による学習環境の格差が懸念されています。県として学校教育の活力を確保し、子どもたち一人ひとりに教育の機会と質の保証をしていく必要があるのです。

確かな学力を育成し、学校の力を最大限に活かすために

（第２次長野県教育振興基本計画策定に向けた提言）

平成２４年７月

学ぶちから・学校力専門委員会

提言書（クリックするとリンクが開きます）。

◆「確かな学力の保障」とは？

◇経済の成熟やグローバル化が進む社会の中で自立するためには、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、知識・技能を実生活へ活用する力や自ら課題を見つけ探求する力、コミュニケーション能力などが求められています。こうした実社会で求められている力の着実な習得を一層推進する必要があります。

◆「多様な能力を伸ばす教育と学び合う環境づくり」とは？

◇学校には児童・生徒の多様な教育ニーズへの対応や、一人ひとりの能力が最大限発揮される教育が期待されています。他方、学校には、学習指導だけではなく、子どもたち同士が学び合い、話し合う中で人間関係を形成する場としての役割もあります。この点を踏まえ、一人ひとりの多様な能力を最大限伸ばすことのできる教育を進めるとともに、学び合う集団形成のための環境づくりが必要です。

◆「学校力を高めるための支援」とは？

◇学校は企業のようなピラミッド型の組織ではなく、校長・教頭の全体的なマネジメントの下、学年や教科単位、個々の担任等それぞれがマネジメントを行う分権的な組織です。そのため、組織の意識が全体として一致したとき、学校は「チーム」として大きな力を発揮することができるのです。個々の教員が主体的に能力を最大限発揮するとともに、学校という組織全体としての力が最大限発揮できるよう、教職員配置の改善等の環境整備や、学校、教員を支援する取組を進めることが大切です。

◆「長野県教育スタンダード」の設定と推進を提案

◇多くの県民が県歌「信濃の国」を愛着を持って歌えることなど、教育に関わる伝統や教育に活かせる財産が長野県には数多く存在しています。また、時代の転換点を迎える中で、長野県民としてのアイデンティティを育む必要があります。一方で、学校へのニーズの高度化・多様化が進み、今後の教育には学校・家庭・地域・企業・行政等の連携が欠かせません。そこで、長野県ならではの教育として県民が共有できる教育目標や条件整備、教育活動のあり方をパッケージ化して「長野県教育スタンダード」として示し、県民の理解と協力を得て教育政策を推進することを提案しています。

◆なお、項目ごとに検討した具体的な施策の方向性については http://www.pref.nagano.lg.jp/kenkyoi/teireikai/943/943-4.pdf をご覧ください。

（教育に関するアンケート結果については来月号で特集します。）

■お問い合わせ
教育総務課　企画係
Tel：026-235-7423
Fax：026-235-7487
e-mail：
kyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

目次へ
戻る

今、学校では

本と親しむ　本と共に過ごす時間を楽しむ
～日常に位置付いた図書室利用をめざして～
長野県松本養護学校

文部科学省では、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、優れた実践を行っている学校等を表彰する「子どもの読書推進事業」を行っています。今年度の「子どもの読書活動優秀実践校」には茅野市立泉野小学校、下諏訪町立下諏訪南小学校、長野県松本養護学校の３校が選ばれました。今月は長野県松本養護学校の特集です。

（前月はこちら）

◆図書室の整備

本校には小さいながらも図書室が整備されています、とお話しすると「え、図書室は普通ないんですか？」という問いが返ってきます。実は特別支援学校（知的障害）では身近に「本」があるほうが活用されやすいということもあり、各教室にさまざまな図書資料があることが多く「図書室」という場所が設けられることが少ないのです。本校では平成十六年に校内の改装に合わせて図書室の整備を始めました。

図書室が整備されたことで日々の読書の場としての役割に加え、生徒たちにとって気持ちが安定できる場がひとつ増えました。そして、年に２回の読書旬間を中心に、各部毎それぞれの児童生徒が楽しめるさまざまな企画を実施し、本への興味を増しています。

また、外部団体の方々と連携した読書指導も日常化しており、本と親しむ活動の充実を図っています。

◆本校の図書室の利用状況

本校の図書室は絵本や図鑑を中心に約１，５００冊の蔵書があります。授業での利用が多く、１週間の予定の中に「図書室での読書」の時間を設定している学級も多くあります。他に、昼休み等を図書室でゆったりと過ごしたり、毎日図書袋を抱えて図書館に足を運んだりと、図書室利用が毎日の生活の中に定着している児童生徒が多く見られます。

校外学習で公立図書館を利用することも考え、図書室も分かりやすい分類で配架されています。

ボランティアの方々による読み聞かせの様子

◆外部団体との連携

読書旬間中には、各部毎に「おはなし会」を実施し、ボランティアの方々による絵本の読み聞かせ等を実施しています。複数の地域のボランティアグループの方々と連携しながら、児童生徒と本と人のつながりを作っています。昼のお話会は１０分ほどの時間を２回連続で実施するという無理なお願いもしていますが、事前の打ち合わせもふくめて、どの方も“楽しみ”で来ていま

すよ」言っていただきとてもなごやかな時間が作られます。時には「もっとゆっくり読んで」「もう1回おまけに読んでほしい」といった子どもたちの声にも応えていただき有り難いです。

本校は、小学部から高等部まで児童生徒の年齢に幅があるため、ボランティアの方々との事前の共通理解を密に行い、それぞれの部の児童生徒の実情に合った絵本の読み聞かせを心がけたり、選書の相談にものっていただいています。

昨年は某出版社主催の「おはなしキャラバン」に参加しました。キャラバンカー内に展示されている絵本を手にとって読んだり、併せて行われた「お話の会」での読み聞かせを聞いたりしました。図書室にはない本を見つけて喜ぶ姿や、それらを夢中になって読んでいる姿が印象的でした。

このように本との関わりで外部の方々とのつながりを作っていくことも大切にしています。

「キャラバンカー」から本を選び楽しむ様子

部集会での発表の様子

◆日常の活動から

中学部では1年生が全員図書委員会に所属しています。読書旬間では各自のおすすめ本をポスターにして昇降口に掲示したり、中学部の集会で絵本の読み聞かせをしたりしています。読書旬間の約1ヶ月前から生活単元学習等の授業で製作や発表の練習をし、図書室利用や読書への興味の喚起を行っています。

もちろん、職員も読書旬間には「お話会」の読み聞かせを行ったり、参加したり、「おすすめ本」のポスターを一生懸命つくったり（このポスターは図書室の財産の一つとして大切に活用されています。）・・・全校で本との出会いをつくろうと取り組んでいます。

■お問い合わせ
長野県松本養護学校
〒390-1182
松本市今井 1535
TEL：0263-59-2234
FAX：0263-59-1005

目次へ
戻る

ご存知ですか？
～障害のある児童・生徒の就学相談について～

◆特別な支援を必要とするお子さんの就学相談

◇障害のあるお子さんの就学については、教育的ニーズに応じて、特別支援学校、小中学校の特別支援学級、そして通常の学級（通級による指導を含む）と、様々な就学の場が用意されています。市町村教育委員会では、お子さんの将来の自立や社会参加に向け、適切な教育が受けられるように、お子さんが就学されるにあたって、必要な情報をお伝えしたり、保護者の方やお子さんの願いをふまえ、どのような就学先が望ましいのか等、就学に関する様々な相談を行っています。

日常生活の中で、お子さんの何らかの発達に遅れがみられたり、身体に不自由があるなど、お子さんの教育のことでお悩みやご心配のある方は、まず保育所・幼稚園等にご相談いただくとともに、お住まいの市町村教育委員会に、電話又は直接窓口にてご相談ください。

就学支援相談ハンドブック（クリックするとリンクが開きます）。

◆就学相談の大まかな流れ

◇お住まいの市町村や、個々のケースによって違いはありますが、まず、窓口に申し出ていただきますと、およそ以下のような内容（流れ）の相談や支援を行っています。

◇相談員等が面接を行い、心配や悩み、お子さんの様子や就学への思いをお聞きします。

⇦

◇相談員が園生活等を参観したり、発達の様子を把握する検査をしたりし、お子さんの状況を把握します。必要に応じて、よりよい支援について一緒に考えたり、助言します。

⇦

◇就学先について、実際に見学・体験をしてみます（就学後の生活について情報を提供したり、保護者のご意向を伺います）。

⇦

◇総合的な情報を基に、市町村就学相談委員会にて、お子さんが最も力を発揮できる就学先について判断します。

⇦

◇就学先についての判断が保護者に伝えられ、あらためて相談します。

⇦

◇保護者との相談を踏まえて、市町村教育委員会が就学先を決定し、通知します。

⇦

◇就学先の学校と就学に向けて相談や準備を進めます。また、園などから、お子さんにかかわる支援情報を就学先へ引き継ぎます。

◆「就学相談ハンドブック」はこちら

◇長野県教育委員会では、就学相談の基本的な考え方や手続きを周知し、保護者が安心できる体制づくりや情報提供の一助となるよう、「就学相談ハンドブック」を作成しました。

http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/tokusyu/tokushi/tokubetsu4/index.htm

◆「特別支援教育推進員」について

◇また、長野県教育委員会では、県下４教育事務所に「特別支援教育推進員」を１名ずつ配置して、就学に関する相談全般に対応しています。どのようなことでも、就学にかかわって相談したいことがございましたら、お問い合わせください。

「特別支援教育推進員」が配置されている教育事務所はこちらです。

◇東信教育事務所
ＴＥＬ：０２６７－３１－０２５１
ＦＡＸ：０２６７－３１－０１４０

◇南信教育事務所
ＴＥＬ：０２６５－７６－６８６０
ＦＡＸ：０２６５－７６－６８５９

◇中信教育事務所
ＴＥＬ：０２６３－４０－１９７６
ＦＡＸ：０２６３－４７－７８４０

◇北信教育事務所
ＴＥＬ：０２６－２３４－９５５１
ＦＡＸ：０２６－２３４－９５５７

■お問い合わせ
特別支援教育課指導係
Tel：026-235-7456
Fax：026-235-7459
e-mail：tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp

目次へ
戻る

イベント情報・お知らせ

研修講座のご案内

◆長野県生涯学習推進センター　※受講は無料です。

タイトル	日時	講義・実習	講師	会場
生涯学習推進講座「笑顔が輝く学校と地域」	8月3日(金) 10:00～16:00	「地域の力で子どもが育つ！地域も育つ！」 上田市立塩田中学校「しおだっ子応援団」の取り組み	習志野市秋津コミュニティ顧問　岸裕司	
生涯学習推進者実践講座【５回連続講座】第２回・第３回	8月6日(月) 10:00～16:00	フィールドワーク・グループディスカッション「若者と共に学ぶ」	松本大学総合経営学部教授　白戸洋	松本市波田公民館
	9月11日(火) 10:00～16:00	生涯学習実践者・推進者の話「私と生涯学習」 事業構築ワークショップ①		松本大学
施設開放「マナビィ共育講座（講演会）」	8月25日(土) 10:00～11:30	「ことばを通して心をつなぐ」 蟻ケ崎高等学校書道部書道ガールズによるパフォーマンス	松本蟻ケ崎高等学校教諭・書道家　大澤一仁（逸山）	
生涯学習推進講座「課題解決型の図書館をめざして」（図書館講座）	9月4日(火) 10:00～16:00	「公共図書館に求められる新しいサービス」 事例発表	電気通信大学大学院情報理工学研究科特任教授　竹内利明 東京都立中央図書館情報サービス課サービス計画係　余野桃子	
家庭・幼児教育講座「やる気を育むコミュニケーション」	9月18日(火) 13:15～16:00	「子どもも育つ、親も育つ、やる気を育むコミュニケーション」	コーチングオフィスジェイフィールド代表　山口順子	
セミナー「生きる力」	9月22日(土) 10:00～12:00	「仏法の世界と生命（いのち）」	無量寺東堂　青山俊董	

※会場の記載がない講座は、当センターにおいて開催します。

◆県体育センター　（7月20日～8月20日開催分）

タイトル	開催日	定員	会場	講師
（新）脳の発達と子どもの運動～柳沢運動プログラムの理論と実践～ 「幼児・児童期の全身運動が脳を育て心を育む」という、「柳沢運動プログラム」が全国の幼・保・小学校で大反響を呼んでいます。毎日を元気に楽しく過ごせる子どもたちを育てていくために、その理論と実践を学び合いましょう。	7月21日（土）	40名	飯田市鼎公民館・飯田市鼎体育館	松本短期大学教授 柳澤秋孝
みんなで楽しめるニュースポーツ だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しめるニュースポーツは、生涯スポーツ振興・推進の原動力として多くの関係者から期待されています。みなさんも、多くの種目の導入やコミュニケーションスキルの向上に役立ててみませんか。	7月28日（土）	40名	信州スカイパーク体育館	長野県体育センター専門主事
（新）体育指導が苦手な先生のための研修②「体つくり運動・器械運動」編 体育の免許がない、体育が苦手。小学校で体育の指導に悩んでいる先生方に、是非、受講してもらいたい講座です。自分の苦手な運動を克服し、子どもに自信を持って指導しましょう。	8月2日（木）	15名	信州スカイパーク体育館	長野県体育センター専門主事
全校運動に使える縄跳び運動 全校運動で何をしたらいいのか困っていませんか。縄跳び運動は手軽に楽しく取り組め、体力づくりにも最適。この講座で縄跳びのバリエーションを増やし、全校運動に役立てて下さい。	8月3日（金）	40名	信州スカイパーク体育館	塩尻市立広丘小学校教諭 齊藤博正
（新）「運動と学業成績の関係について」「松本大学との連携・公開講座」 「運動と学業成績には何か関係がありそうだ。」文科省の学力・体力調査、現場の小・中学校の実態調査等から、運動と学業成績の関係を学び、日々の学力向上・体力向上に向けた取り組みに活かしましょう。	8月7日（火）		松本大学	諏訪東京理科大学教授 篠原菊紀 松本大学准教授 岩間英明
（新）運動会で踊ろう！「YOSAKOIソーラン節＆信濃の国」 運動会で踊るダンスも時代と共に様変わりしてきています。本講座では全国的に有名になり県下各小学校でも盛んに踊られているYOSAKOIソーラン節、およびロック調に編曲された信濃の国踊りの実技講習をします。	8月9日（木）	40名	信州スカイパーク体育館	長野県体育センター専門主事
苦手な子にも参加しやすく、運動嫌いを生み出さない体育・スポーツの指導 子どもは誰でも運動が好きなはず。子どもを体育嫌いにさせない体育指導について、体育学習や各種スポーツの動きづくりを活かすコーディネーション運動から、やさしく始めて早く上達させる球技・器械運動の指導法を学びます。	8月10日（金）		信州スカイパーク体育館	佐久市立高瀬小学校教頭 柳澤光

◆研修講座のお問い合わせ先

長野県生涯学習推進センターでの研修講座

■お問い合わせ
長野県生涯学習推進センター
〒399-0711
長野県塩尻市片丘南唐沢 6342-4
Tel：0263-53-8822
Fax：0263-53-8825
e-mail：shogaigakushu@pref.nagano.lg.jp

長野県体育センターでの研修講座
8 月の「一般体力測定」

■お問い合わせ
長野県体育センター
〒390-1131　長野県松本市大字今井 3443
TEL: 0263-86-0218　FAX: 0263-86-0204
ホームページ：
http://www.pref.nagano.lg.jp/xkyouiku/taice/index.htm

イベント・募集

◆２０１２県民スポーツフェスティバル参加者募集

スポーツ・レクリエーション活動の場として、相互交流を深め、健康で豊かなスポーツライフの実現のために、スポーツフェスティバルを開催します。

日時	会場	申込期間	競技の部	ふれあいスポーツの部	イベント広場
県大会　１０月１４日（日）	松本平広域公園他	７月６日（金）～９月３日（月）	陸上競技、ソフトバレーボール、ラージボール卓球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、小学生相撲、キンボール、ペタンク、トリオボウリング、ゲートボール、マレットゴルフ	ノルディックウォーキング、ビームライフル、バリアフリーディスクゴルフ、ペタンク、キンボール	あそびの広場、健康の広場

※競技の部のみ事前申し込み、参加料が必要です。（ゲートボール、マレットゴルフ、グラウンド・ゴルフは、各競技団体を経由して申し込みます）

◇ランチタイムイベントでは、「スポスタフェスティバル」として、ながのスポーツスタジアムに参加する学校、学級の皆さんによる、「クラスで８の字ジャンプ」の取り組みと演技の発表をします。

◇県大会の他、県下２０会場で「地域版」を開催します。総合型地域スポーツクラブや実行委員会が主体になって進めるこの企画にも、ぜひご参加ください。

◇詳細は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.pref.nagano.lg.jp/kyouiku/taiiku/kenfes/kenspo.htm

■お問い合わせ
スポーツ課内
県民スポーツフェスティバル実行委員会事務局
TEL: 026-235-7449
FAX: 026-235-7493
e-mail:
sports-ka@pref.nagano.lg.jp

◆８月の「一般体力測定」実施について

日頃の運動不足解消に、体力測定は如何でしょうか？無料で体力測定を受けられます。ふるって御参加ください。

８月の測定実施日は２２日（水）、３０日（木）となっております。なお、事前に申し込みが必要になります。お問い合わせ先はこちら

◆夏休み　歴史館子ども考古学講座

歴史館では、小学生を対象にした「夏休み子ども考古学講座」を開催します。本物の縄文土器を持ったり、縄文人の服を着て縄文時代の家体験をしたり、縄文土器の拓本をとってしおりを作ったりします。

また、お盆には予約のいらない手軽な講座も用意しています。どちらも楽しみながら学習できる内容ですので、ぜひご家族で参加ください。

◇縄文人になって遊ぼう

場所	長野県立歴史館
開催日	７月２９日（日）
開館時間	午後１時３０分から４時まで
定員等	定員２０名、事前申込みが必要です

◇縄文人の服装で土器を持ってみよう

場所	長野県立歴史館
開催期間	８月１２日（日）～１４日（火）
開館時間	午後１時から３時まで
定員等	事前申込み不要

◇石のアクセサリーをつくろう！

やわらかい滑石を削ってまが玉をつくったり、縄文の布あんぎん編みに挑戦します。できあがったら持ち帰ることができます。

場所	長野県立歴史館
開催期間	８月１３日（土）～１５日（月）
開館時間	午前１０時から午後３時まで随時 （受付は午後２時３０分まで）
参加費（材料費）	１つ１００円

■お問い合わせ
県立歴史館 総合情報課
〒387-0007　千曲市屋代 260－6
TEL：026-274-2000　FAX：026-274-3996
e-mail：rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県立歴史館　春季企画展・夏季展　連続講座「昭和の戦争と信州」

長野県と昭和の戦争の関わりについて県立歴史館の職員がお話します。

場所	日程	時間
長野県立歴史館　講堂	◇第３回　７月２８日（土） 「長野県の歴史編纂と戦争の関わり」 ◇第４回　８月１１日（土） 「招魂社・忠魂碑・陸軍墓地～戦死者はどう祀られてきたか」 ◇第５回　８月２５日（土） 「戦前の庶民のくらし」	午後１時３０分から

■お問い合わせ
県立歴史館 総合情報課
〒387-0007　千曲市屋代 260－6
TEL：026-274-2000　FAX：026-274-3996
e-mail：rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県立歴史館　夏季展　戦争と宣伝　～阿智村ポスターが語る～

下伊那郡阿智村に国家総力戦時代のポスターが135枚も残されていました。それらのポスターがどのように作られたのかを探るとともに、戦時下のプロパガンダ・ポスターとは何であったのかを検証します。

場所	長野県立歴史館
開催期間	7月28日（土）～9月2日（日）
開館時間	午前9時から午後5時まで （入館は午後4時30分まで）
休館日	毎週月曜日（8月13日は開館）
観覧料 （常設展共通）	◇大人　500円（400円） ◇高・大学生　250円（200円） ◇小・中学生　120円（100円） ※（　）は20名以上の団体

※次の方は無料です。
◇平日、学校の教育活動として観覧する県内の小・中・高生
◇身体障害者手帳などの交付を受けている方とその介護者
◇土・日曜、祝日及び振替休日に観覧する小・中・高・特別支援学校生

◇講演会

開催日時	演題	講師
8月18日（土） 午後1時30分から	ポスターに見る戦時下の暮らし ～阿智村コレクションを中心にして～	姫路市立美術館　田島奈都子氏

■お問い合わせ
県立歴史館 総合情報課
〒387-0007　千曲市屋代260－6
TEL：026-274-2000　FAX：026-274-3996
e-mail：rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県立歴史館講座　「古代信濃の王」

平成２４年度の考古学講座は、「古代信濃の王」と題し、全４講座（うち１回は遺跡探訪会）を開講します。

県立歴史館の職員が、わかりやすく解説しますので、考古学に興味を持ち始め、学習の機会を求めている方等には、とても良いきっかけの場になると思います。

ぜひ、県立歴史館の考古学講座にご参加ください。

会場	日程	時間	申込
長野県立歴史館	◇第３回　７月２１日（土） 「大王と王」 ◇遺跡探訪会１０月２７日（土）	午後１時３０分から午後３時まで	所定の申込書の提出が必要です。 （通年予約制。当日受付も可。）

■お問い合わせ
県立歴史館 考古資料課
〒387－0007　千曲市屋代 260－6
TEL：026-274-2000
FAX：026-274-3996
E-mail　rekishikan@pref.nagano.lg.jp
ホームページ　http://www.npmh.net/

◆長野県埋蔵文化財センター施設一般公開　「夏休み　考古学チャレンジ教室」

夏休みにあわせ、県埋蔵文化財センターでは、どんな仕事をしているのか？施設を公開し、ふだん見ることができない作業の様子などを御覧になれます。

また、実際に土器や石器に触れたり、勾玉をつくる体験コーナーもあります。ぜひお越しください。

場所	開催日	開館時間	内容
県埋蔵文化財センター	８月３日（金）・４日（土）	午前９時から午後１時まで	◇埋蔵文化財センターのお仕事見せます！ ◇ミニ展示会　スライド上映 ◇歴史の疑問にお答えします！ ◇土器をくっつけてみよう ◇勾玉をつくろう！ （材料費１００円） など

■お問い合わせ
県埋蔵文化財センター
〒388-8007
長野市篠ノ井布施高田 963-4
TEL: 026-293-5926
FAX: 026-293-8157
e-mail:info@naganomaibun.or.jp

◆長野県埋蔵文化財センター速報展　「長野県の遺跡発掘２０１２」

平成２３年度、（財）長野県文化振興事業団長野県埋蔵文化財センターなどで調査を行った２２の遺跡から発掘した出土品をいち早く公開しています。

中野市南大原遺跡の弥生時代の集落跡からの出土品や、飯田市鬼釜古墳から出土した玉類や馬具などが見どころです。また、県内初出土の「筆立て付き円面硯」の破片（長野市浅川扇状地遺跡群）なども展示しておりますので、この機会にぜひご覧ください。

場所	伊那文化会館
開催期間	７月２８日（土）～８月１９日（日）
開館時間	午前９時から午後５時まで（入館は午後４時３０分まで）
休館日	７月３０日（月）・８月６日（月）・１３日（月）
観覧料	無料

◇遺跡調査報告会・講演会

開催日時	８月１１日（土）午前１０時３０分から午後３時まで
遺跡報告会	◇箕輪町上の林遺跡の調査（箕輪町教育委員会） ◇馬が殉葬された古墳（飯田市鬼釜古墳）
講演会	「天竜川流域の古墳文化」
講師	飯田市教育委員会　小林　正春　氏

■お問い合わせ
伊那文化会館
〒396-0026　伊那市西町 5776
TEL: 0265-73-8822　FAX: 0265-73-8599
e-mail : info@inabun.or.jp

◆第６回学ぶちから・学校力専門委員会開催概要を掲載しました
◆「教員の資質向上・教育制度あり方検討会議」委員を募集します
◆「不登校対策の行動指針（改訂版）（案）」に対するご意見を募集します
◆「長野県特別支援教育推進計画（案）」に対するご意見を募集します
◆第９４３回長野県教育委員会定例会を開催しました

あ と が き

メールマガジン８月号をお送りします。

ロンドンオリンピックが開催される今年は、例年以上に暑い夏になりそうですね！観戦するだけの私たちはとかく勝敗やメダルの数に一喜一憂してしまいがち。ですが、この日のために長い間一生懸命練習してきた選手の皆さんには、今までの思いをありったけぶつけて納得のいく試合をしてきてほしいと思います。

夏本番はこれからです。体調管理にはご留意いただき、暑い夏を乗り切りましょう！（ひ）

目次へ
戻る